

第 22 回北東アジア地域研究会・国立民族学博物館拠点（月例会）報告

平成 30 年 7 月 19 日に国立民族学博物館にて月例会を開催いたしました。発表者は本館外来研究員の中田梓音さんで、「韓国テレビドラマにおける飲食場面の考察」というタイトルでご発表いただきました。

韓国のドラマを題材として、食事の場面から経済的背景や友情・愛情の象徴、伝統・社会的慣習といった特徴を読み解き、食事を通して見える韓国文化の一端を明らかにしました。方法論やサンプルに関して課題が指摘されたものの、食事の場面に現れる経済格差や現地の人が無意識に行っている行動を指摘し、北東アジア全体に敷衍した比較研究の可能性を感じさせる発表でした。討論の時間には、箸の使い方といった実際の所作や男女差にまで議論が及びました。

本拠点構成員 5 人と院生・研究員等 3 名の合計 8 名が参加いたしました。

